

年報第 15 号（2022 年度）の「実践論文」、「展望論文」 および「資料論文」の原稿を募集します

年報編集委員会

日本学校心理士会年報第 15 号（2022 年度）に掲載する「実践論文」と「展望論文」、「資料論文」の原稿を募集します。

「実践論文」および「資料論文」は、学校心理士としての自らの活動を一定の論文としてまとめるとともに他の会員への示唆となることを期待しています。

「展望論文」は特別なテーマは指定していません。学校心理学に関する形式に捉われない執筆者自身の独自で自由な意見を述べる意見論文と、心理学関連雑誌で一般的にみられる形式の文献レビュー論文とに分かれます。

論文原稿の作成及び投稿の仕方については、「『日本学校心理士会年報』論文 原稿作成・投稿要領」を精読してください。また、論文作成に際し、研究方法や対象者の「倫理」に十分な配慮が必要です。「日本学校心理士会年報倫理規定」に沿った作成をお願いします。

論文原稿提出の締め切りは、2022（令和 4 年）8 月 31 日（消印有効）となっています。締め切り後の年報編集委員会にて査読者を決定しますので、早期にご送付いただいても審査が早まることはありません。

論文原稿の提出にあたっては、投稿票をダウンロードして、必要事項を記入し、原稿と一緒に送ってください。なお、各支部長はじめ支部役員の方には、支部会員の方で実践論文をまとめようとしている方がおられましたら、今まで通りご推薦ください。

なお、論文の掲載（採択）は、年報編集委員会と論文原稿査読者の意見を総合して判定し、掲載が決定しましたら、執筆者に連絡し、最終の原稿を指定期日までに送っていただきます。年報編集の主旨をご理解いただき、積極的にご応募いただきますようお願い申し上げます。

【文献目録】作成のご協力をお願い

「学校心理士年報第 15 号（2022 年度）」の『文献目録』欄に掲載する文献を募集します。2022 年 1 月～12 月に発行された学校心理士関連領域の著書、論文、その他（教育関連雑誌）がございましたら、年報の文献目録の最後のページに記載のフォーマットを参考に作成し、学校心理士会事務局までお送りくださいますようお願いいたします。

なお、2021 年 12 月以前に発行された文献で、まだ「年報」に掲載されていないものがございましたら、それも【追加】の欄に掲載いたします。以上、宜しくをお願いいたします。

【年報論文ホームページアップ】

年報 8 号の掲載の論文より、学校心理士認定運営機構・日本学校心理士会のホームページにて閲覧できることになりました。ユーザー名とパスワードは会員専用ページと同じです。